

2017年4月度 中部品質工学研究会 議事録

1. 開催日時

2017年4月1日(土) : 10:00~16:30

2. 開催場所

(有)アイテックインターナショナル

3. 参加者<敬称略>出:出席、欠:欠席、書:書記

井上	出	大見	出	牧野	出	横尾	出	山口	出	杉浦	書	則尾	欠	三浦	出
城越	出	中山	出	合田	出	佐藤	出	伊藤	出	舟山	出	石上	出	出島	出
岡田	出	庄内	出	福田	出							岩本	出	田口	出

4. 輪読 第3編第10章 目的の段階と基本機能(合田)

地震に対する対策を例に、目的と手段の関係を考える。

- ①フィードバック制御による対策: 地震を信号と考える自動制御システム
- ②パラメータ設計による対策: パラメータ設計、地震は純粋にノイズと考える対策
- ③許容差設計による対策: 上記②実施後、損失関数によりコストと品質のバランスをとる
- ④地震予測による対策: 品質工学は予測手段に対する評価技術

5. 講演①SKYACTIV開発への品質工学の適用とその展開(マツダ(株)武重氏)

- ・SKYACTIV開発に品質工学を如何に応用し、成功したのかを紹介。
- ・品質工学の考え方の応用できたことがSKYACTIV開発成功の秘訣であった。
- ・SKYACTIV開発を管理技術の視点から振り返り、次世代商品群開発にも展開している。

講演②米国高校生による超小型風力発電機の最適化、他(田口伸顧問)

- ・ミシガン州グランドブランク高校で実施した課外活動の紹介。
- ・DFSS-IDDOVについて。
- ・企業戦略としての品質工学について議論。企画(商品開発)前の先行技術開発テーマ実施の現状。

6. 分科会

分科会テーマの継続有無と次期分科会テーマ案について。

- ・APRTは継続。バーチャル設計は完了とし、最新情報はウォッチする。
- ・次期テーマ案は以下であるが、他に良い案あれば各自次回に提案する。
MTシステム、機能、応答曲面法、AI(Dプランニング)とTaguchi

7. 幹事・事務局連絡

- ・今月より庄内氏、福田氏が新入会。
- ・来月の開催場所を中品協→ITEQに変更
- ・研究会で用いる器材等の購入費の取扱いについて。10万円以上は資産管理、以下は消耗品とする。
- ・研究会メンバー名簿の取扱いについて。現状は事務局で管理。各自に名簿記載内容の確認を依頼。
- ・今後の講演計画案について。Dプランニングについて名工大、滋賀大、IBM、NECなどが候補。

8. 次回案内

日時: 2017年5月13日(土) 10:00-16:00

場所: ITEQ本社